

① **事業の背景・目的** 磐田久保川の周辺では、過去に平成10年9月と平成16年11月に大きな浸水被害が発生している。新たな雨水管渠とポンプ場を建設し二之宮地区の浸水被害の解消を図る。

(被害の状況)	発生日	床上浸水	床下浸水	浸水面積
	H10.9.24	34戸	88戸	127ha
	H16.11.12	52戸	129戸	235ha

② **事業の概要** 天龍西貝塚幹線から県道磐田福田線へ雨水管渠を新設し、JR磐田駅から天龍西貝塚幹線までの雨水を、今之浦第4ポンプ場から今ノ浦川へ強制排水することにより、磐田久保川の雨水流入を軽減させ水位を低下させる。流入の減った磐田久保川に谷田川ポンプ場、西御殿川ポンプ場から強制排水を行い、磐田久保川周辺の浸水被害の解消を図る。

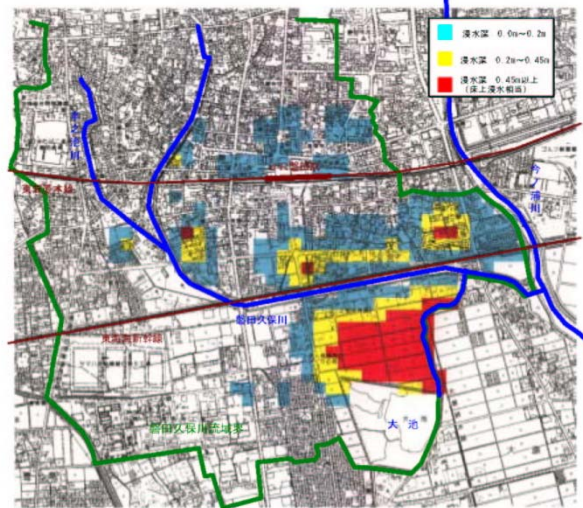
【完成した事業】

- ① 今之浦第4ポンプ場（H26年3月完成）
 - 集水区域：85.35ha スクリューポンプ口径3400mm 3台 排水能力:2.361m³/s
- ② 沼原川雨水幹線管渠新設（H27年7月完成）
 - 総延長L=1,440m ボックスカルバートW4500~2000×H1500・1000

【継続中の事業】

- ③ 谷田川ポンプ場（H26年~29年）
 - 集水区域：5.70ha 水中ポンプ口径400mm 2台 排水能力:0.992m³/s
 - H27年度事業：樋管工事、建築工事
- ④ 西御殿川ポンプ場（H27年~30年）
 - 集水区域：2.44ha 水中ポンプ口径350mm 2台 排水能力:0.460m³/s
 - H27年度事業：樋管工事

③ 事業の効果 平成16年11月豪雨の実績降雨(68mm/h)を基にしたシュミレーション図

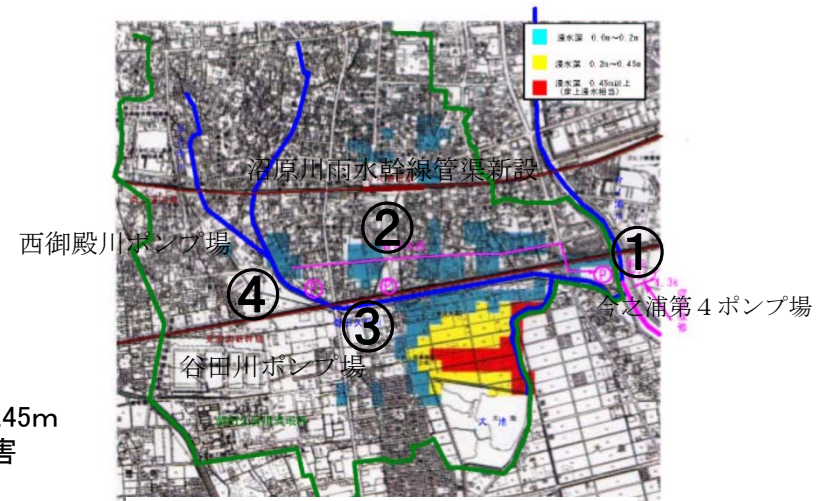


事業実施前(H18年度末時点)

- 浸水深 0.0m~0.2m
- 浸水深 0.2m~0.45m
- 浸水深 0.45m 以上 (床上浸水相当)



住宅地における ■ 浸水深0.2m~0.45m ■ 0.45m以上が解消され、浸水被害が軽減されると想定される。



事業実施後(H30年度末)